

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 1 月 18 日(2022.1.18)

【公開番号】特開 2020-58444(P2020-58444A)

【公開日】令和 2 年 4 月 16 日(2020.4.16)

【年通号数】公開・登録公報 2020-015

【出願番号】特願 2018-189973(P2018-189973)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 7 日(2022.1.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な状態制御手段と、
遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
付与条件の成立にもとづいて遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段と、
複数の表示部を有し、遊技に使用された遊技媒体の数にもとづく遊技価値と前記遊技価値
付与手段により付与された遊技価値との割合に関する特殊情報を表示可能な特殊情報表示
手段と、
所定領域を遊技媒体が通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結果
を導出表示する普通可変表示手段と、
前記普通可変表示手段の表示結果が所定表示結果となったときに、所定期間に亘り遊技媒
体が特定領域を通過可能な状態となる普通可変手段と、
前記普通可変手段が通過可能な状態となる通過可能期間を計時する普通可変計時手段と、
を備え、
前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が実
行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、
前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後
、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、
前記通過可能期間が計時されている間に遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機
への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御される場合に、遊技機への電力供給が再
開してから該設定確認状態が終了するまで前記通過可能期間の計時が中断され、該設定確
認状態が終了するときに前記通過可能期間の計時が再開され、
前記特殊情報表示手段は、異なる期間についての前記特殊情報を表示可能であるとともに
、設定値を特定可能な設定値情報を表示可能であり、
前記特殊情報が表示される場合と設定値情報が表示される場合とで、前記特殊情報表示手
段で使用する前記表示部の数が異なる、
ことを特徴とする、遊技機。

30

40

50

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、設定変更操作にもとづいて複数段階の設定値のうちのいずれかに設定可能であり、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチンコ遊技機があった（例えば、特許文献1参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2010-200902号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1にあっては、設定確認をすぐに行いたい状況のときに、実行中の全ての処理が終わるまで待たねばならず、好適に設定確認作業を実行することできないという問題がある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、好適に設定確認作業を実行することができ遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

手段Aの遊技機は、
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な状態制御手段と、
遊技に関する処理を実行可能な割込処理を実行する割込処理実行手段と、
付与条件の成立にもとづいて遊技価値を付与可能な遊技価値付与手段と、
複数の表示部を有し、遊技に使用された遊技媒体の数にもとづく遊技価値と前記遊技価値付与手段により付与された遊技価値との割合に関する特殊情報を表示可能な特殊情報表示手段と、
所定領域を遊技媒体が通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結果を導出表示する普通可変表示手段と、

10

20

30

40

50

前記普通可変表示手段の表示結果が所定表示結果となったときに、所定期間に亘り遊技媒体が特定領域を通過可能な状態となる普通可変手段と、

前記普通可変手段が通過可能な状態となる通過可能期間を計時する普通可変計時手段と、
を備え、

前記設定確認制御手段は、遊技機への電力供給が開始したときであって前記割込処理が実行される前に前記設定確認状態に制御可能であり、

前記設定確認状態が終了したときに前記割込処理が実行され、該割込処理が実行された後、遊技機への電力供給が停止されるまで前記設定確認状態に制御されず、

前記通過可能期間が計時されている間に遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御される場合に、遊技機への電力供給が再開してから該設定確認状態が終了するまで前記通過可能期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了するときに前記通過可能期間の計時が再開され、

前記特殊情報表示手段は、異なる期間についての前記特殊情報を表示可能であるとともに、設定値を特定可能な設定値情報を表示可能であり、

前記特殊情報が表示される場合と設定値情報が表示される場合とで、前記特殊情報表示手段で使用される前記表示部の数が異なる、ことを特徴としている。

手段 1 の遊技機は、

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な遊技機であって、

可変表示を行い有利状態に制御可能であるとともに、前記特殊状態に制御されているときに遊技媒体が特定領域を通過したことに基づいて前記有利状態に制御可能な有利状態制御手段（例えば、1 種 2 種スペックの遊技機）と、

通常状態よりも有利状態となりやすい特別状態（時短状態）に制御可能な特別状態制御手段と、を備え、

前記通常状態において前記有利状態となる設定差よりも、前記特別状態において前記有利状態となる設定差の方が小さい（例えば、設定値に応じて大当たり確率は異なるが小当たり確率は同一である為、時短状態において大当たりとなる確率差が小さくなる）、ことを特徴としている。

この特徴によれば、設定値が不利な（低設定の）可能性が高い遊技機であっても、遊技の興趣を維持することが可能となる。

10

20

30

40

50